

## 東京工芸大学工学部が 昨年度に引き続きWeb上で教員と採用担当者を結びつける ペアリング型の就職情報交換会を開催

東京工芸大学(学長:吉野弘章、所在地:神奈川県厚木市、以下本学)工学部は、11月5日に実施2年目となる、「ペアリング型の就職情報交換会(以下、本情報交換会)」をWeb上で開催しました。この度実施された本情報交換会は、一昨年とは異なり、ペアリング型すなわち、企業採用担当者と研究室指導教員が事前にお互いを指名し、ニーズの合致したペアが面談を行う企画です。

今年度の本情報交換会は、企業と教員の新たな関係構築と従前から面識のある企業との関係を強固にすることを目的としています。本学教員と企業採用担当者の双方にとって、ニーズに合った面談が行えると同時に、研究室で研究している学生が強みを生かせるであろう、入社実績のない企業との新たな関係が構築できるなど、従来にないリクルーティングが期待できます。

今年度は、81社が参加し、本学工学部教員56名と面談を行い、延べ面談企業数は554社で、前年比15%増加となりました。企業側に本情報交換会の主旨を理解いただけたこともあり、延べ面談数が増加し大変有意義な交換会となりました。

本情報交換会開催後、工学部就職委員長の陣内教授は「大変お忙しい中、多くの企業の方と教員のみなさまに貴重な時間を使って本就職情報交換会に参加して頂いたことに感謝しております。この情報交換会で構築された関係が、一人でも多くの学生の将来につながればと思っております」と話します。

今後も本学は、学生ひとりひとりの個性を尊重し、可能性を最大限に引き伸ばす教育を行い、希望にあった就職をサポートする一方で、本情報交換会のような就職後のミスマッチを減らすための取り組みも企画してまいります。

### 新しい関係形成

